

一般社団法人日本建築まちづくり支援機構（JCAABE）

2025 年第 8 期総会議事録

事業期間 自 令和 6 年 8 月 1 日 至 令和 7 年 7 月 31 日

開催日時 9 月 26 日 18 時～19 時 20 分

開催場所 建築家会館 1 階建築家クラブ及び Zoom によるオンライン

配付資料 第 8 期総会議案、事業報告書（決算及び監査報告書）、第 9 期予算

総会の成立確認

大槻一敬事務局長から会場参加 13 名、オンライン参加 5 名、委任状 85 名で合計 103 名の出席があり、正会員 157 名の過半数の出席を確認したので会は成立しているとの報告があった。

議長の選出

司会の大槻事務局長から、総会の議長は定款第 13 条の規定により代表理事が当たるとしているの、連代表にお願いするとの発言があった。

書記及び議事録署名人の選任

議長は、書記には正会員の成岡茂、議事録署名人には山田清と片山耕治を指名した。

【議事】

第 1 号議案 事業報告

1. 会員の状況

現在の会員数は 191 名である。会員サービスとしてリレートークを 3 回実施した。この録画を HP に掲載し視聴出来るようにしている。会員数は前年度 181 名だったので会員は増加している。

2. 広報活動

HP の充実を図るとともに、関係団体の機関誌に当会の紹介を掲載している。機関誌としては、JIA マガジン、東京建築士会誌、大阪建築士会の建築人である。

3. まちづくりファシリテーター養成講座事業

2019 年から全国で 8 校の専門学校で実施している。また、立命館大学阿部研究室ではこの講座が取得できる仕組みが設置されている。

当年度の修了者は 98 名、登録者 2 名となっている。

4. 建築まちづくりコンクール「日常と非常時をつなぐデザイン」

事前復興のまちづくりという観点で、街のタカラ探しとアラ探しを行う。場づくり、建築づくりを提案いただいている。

一般部門は既存の建築作品、まちづくり活動対象のコンクールであり、学生部門ではアイデアコンペとしている。現在 54 作品の応募があった。一般部門及び学生部門で最優秀賞を贈った。

第 2 議案 決算報告

連健夫代表から第 8 期決算報告／まとめについて報告があった。続いて向田良文監事から監査報告があった。

第3号議案 次期事業計画・予算書

連代表から説明があった。

- (1) 認定まちづくり適正建築士セミナーの受講者を勧誘し仲間づくりを行う。
- (2) まちづくりファシリテーター養成講座については、設置校を増やすとともに、オンライン講座は社会人を対象により取得しやすい工夫を行う。
- (3) JIA 建築家大会（千葉）ではまちづくりワークショップや講演との連携を行う。

続いて、理事会の報告事項として下記の役員体制について報告があった。

第4号議案 新年度の体制

役員は2年毎に改選を行う。

【理事】 代表理事 連健夫、副代表理事 松村哲志、専務理事 大谷昭二、理事 最上義、松本昭、

【特別顧問】 神田順、野澤康、三井所清典、市古太郎、青木茂（新任）

【幹事】 日比野大（弁護士）

【全国支部長】（北海道支部）菅沼秀樹（東北支部）松本純一郎（関東甲信越支部）連健夫（東海支部）鳥居久保（近畿支部）荒木公樹（中国支部）

山田暁（四国支部）内野輝明（新任）
（九州支部）鯉坂徹

【設計コンペ・プロポーザル相談室】
山本想太郎

【組織本部長】 北村稔和

【事務局長】 大槻一敬
事務局 飯名京美、稲垣雅子（庶務・連絡事務）

【JCAABE 建築まちづくり実装タスクフォース】を委員会として新設する。
委員長 成岡茂、副委員長 片山耕治、委員は会員から推薦と公募で発足する。

この委員会について成岡委員長から以下の説明があった。

建築まちづくりの市民参加や協議調整の仕組みづくり、専門家派遣やアドバイス、JCAABE の建築まちづくり適正建築士の活動の場を確保すると共に委託事業を開拓する。対象は地方自治体等。

議長は以上の議案について会場から意見を求めたが、意見はなかった。

これを踏まえて議長は、会場に賛否の投げかけを行い、全会一致で議案は承認された。

以上

記 録

成岡 茂



以上の議事録は、事実と相違ありません。

令和7年9月26日

議事録署名人

連 健夫

印



山田 清

印



片山 耕治

印

